

情報モラルの授業実践

味岡小学校 岡田 紘司

1. ねらい “携帯電話の正しい利用について考えよう”

2. 実践について

これまで、子どもたちは、家庭におけるしつけなどの家庭教育と学校における道徳教育を通して、基本的な生活習慣をはじめ、社会生活を営む上でのルールとマナーを学んできた。しかし、情報化社会という新たな状況が加わり、大人だけではなく子どもたちにも新たなルールやマナーが求められるようになった。コンピュータや情報通信ネットワークなどを利用した際に、利用者のルールやマナーの欠如が原因で、いつの間にかトラブルに巻き込まれたり、知らないうちにトラブルを引き起こしたりすることがある。

今や、子どもたちの身近には、インターネットや携帯電話、情報端末になるゲーム機など、簡単に情報を得たり、発信したりできる方法がたくさんある。これからの情報時代を担う子どもたちであるので、安易に危険なことには近づけないというのでは成長できない。それらの機器をいかに上手に活用するかということを学ばせて、安全に有効に活用させていくことが必要と考える。

3. 授業内容

ねらい：

携帯電話の良くない面（不利益を被る面）にどのように対処していったらよいかを考え、安全な関わりあい方について考える。

日 時：平成23年9月5日 4校時

場 所：教室

対 象：味岡小学校6年2組（男子17名、女子18名）

展 開：

学習の流れ	支援・留意点、その他
<p>1 アンケート結果を知らせる。</p> <p>2 携帯電話の良い面と良くない面について話し合う。（個人思考 → 全体発表）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><ul style="list-style-type: none">○いつでも電話ができる○メールやネットができる。○家族との連絡が簡単。○写真が撮れる、音楽が聴ける○家族に自分の居場所が分かる。●お金がかかる●迷惑メールがくる。●出会い系サイトなど危ない。●自分の情報が見られる●どんな時間でもかかってくる。●掲示板で悪口など書かれる。</div>	<ul style="list-style-type: none">・ 携帯電話に関するアンケートを事前にとる。・ アンケート結果を見て、思ったことを児童が発表する。・ 時間をとり、自由闊達な意見交換をさせる

<p>3 携帯電話の良くない面から起きている事件について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会い系サイト等で起きた事件を紹介する。 ・ 警視庁の動画ライブラリーなどを引用する。 <p>【例】</p> <p>携帯電話でさまざまなサイトを見ていたところ料金を請求され合計27万円を自己判断で支払った。その際に親のクレジットカード番号を伝え、親が明細を見て初めて知ったという中学2年女子</p>
<p>4 携帯電話を用いるときに気をつけなければならないことを考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間をとり、自由闊達な意見交換をさせる。 ・ 携帯電話など情報機器に関わらないというのではなく、ルールとマナーを守り、関わっていくことが大切であることに気付かせたい。